
空の探険隊で気ままな冒険を試みることにした

ウルティ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の探険隊で気ままな冒険を試みることにした

【Nコード】

N5394Z

【作者名】

ウルティ

【あらすじ】

何か物凄くアホな理由で殺されちゃった俺。だけど、おかげで憧れだった『空の探険隊』の世界で気ままに冒険だ〜！！！！！！

第1章 転生（前書き）

ネタが思いついたら書くことと思っています。駄文ですがよろしくお願ひします。

第1章 転生

「……………ここは何処だ…?」

目を開けると、何も無い白い空間 + 知らない天井。

そんな所で俺は寝ていた。

「目は覚めたか。」

「っ！誰だ！」

突然、背後から声を掛けられた俺は慌てて振り向いた。

そこには、パルキアが……………「って、パルキアアアアアッ!？」

「やれやれ、騒がしい奴だな」

「そついう問題じゃねえよ!!何でパルキアがここにいるんだよ！」

「ん?まだ気づいてなかったのか?お前は死んだんだぞ。」

「はあっ!?!マジでっ!?!」

「本気と書いて、マジと呼ぶぐらいマジだ。お前は死んだ。」

「……………因みに、死因はどのようなもので?」

「すまん、わたしのミスだ。」

……………おい、今この伝説ポケモン(笑)何てほざきやがった?

「お前がちょうど、本屋から包みを抱えて至福の笑みで出てきた時にな、練習していた亜空切断で中身の本ごと切ってしまった。」

……………チーン

「何でだよ、何でそんなところでそんな大技の練習してんのっ！？馬鹿なのっ！？死ぬのっ！？」

「それについては、心から謝りたい。まさか5メートルも狙いを外すとは思わなかった。このパルキア一生の不覚。」

「しかも、結局テメエの亜空切断の命中率の悪さが俺の本当の死因じゃねえかよ！責任取れよ、このノーコン野郎！！」

「くっ…」

あれ？あれあれ、もしかしてこいつは怒らしちまったってパターンかい。ヤベエな、いくらノーコンな伝説ポケモン（笑）でもこんだけ暴言を吐かれたらそりゃマジギレしてもおかしくないか…。こりゃさっさと謝った方が良さそうだ。

「あの〜パルキア…さん？ごめん、俺ついつい言い過ぎちゃった。だから今までの暴言は許し「ごめんなさいっ！」はあっ！？」

「そうです、本屋の前でそんな大技の練習していたわたしが全部悪いんです！！！」

ええと、何て説明したらいいのだろうか？目の前でパルキアがDo・Ge・Zaしてんだが。というか俺が悪者みたいな構図になってんじゃねえかよ。

「お詫びに、わたしの出来る範疇であなたの願いを叶えたいと思います。それで、どうか許してください!!!」

あゝ、何だ？パルキアのキャラ、完全に崩壊してるし。あといつの間にか立場逆転してるし。しっかし、願い事ねえ？意外と儲け物かもしれないね、そいつは。あゝ、だけど何にしようかな〜うーん……あつ！そういえば！

「なあ、パルキア。」

「あつ、はっ、はいっ！願い事決まりましたか？」

「その事なだけどさ、確かパルキアって次元移動できたよな？」

「えっ、はっ、はい！できません、でもそれがどうしたんですか？」

「いや、あのさ、『空の探険隊』って知ってるか？」

「えっ、はい！確かあなたが生きていた世界にあつたゲームですよ
ね？」

「そうそう、それぞれ。その世界にさ、俺を転生させてくれないか
？」

「えっ、はっ、はい！別に構いませんが、でも、そんなのでいいんですか？もっというろいろ叶えられますけど？」

「いや、いいんだ。俺、昔からあの作品が大好きでさ、あの世界に行ってみたかったんだ。」

「そうですか……。分かりました。それくらいであなたを殺してしま

った罪が償えるとは思えませんが、やらせてもらいます。」

「ああ、頼むぜ。」

よっしゃ〜！これであの憧れだった『空の探険隊』の世界に行けるんだ！〜くう〜、みなぎってきた〜！（・・）

「それで、ポジションはどうします？」

「そりゃ、もちろん、主人公〜！」

「では、あなたになりたいポケモンの種族は？」

「うーん、そうだな……よしっ！決めたっ！コリンクで！」

俺がゲームやった時もコリンクだったしな！

「では、パートナーはどの種族にします？」

「うーん、じゃ、ポツチャマで！」

あいつがドヤ顔したら、殴りたいからな！

「はい、分かりました。最後に何かチート能力みたいな物はどうします？」

チート？いや、いらんだろ。あつたらつまらんし。ああ……だけどあれだけ頼むか……

「じゃあ、『時空の叫び』が発動する時の目眩をなくしてくれない？」

「はい!……え、そんなのでいいんですか!？」

「うん。」

「はっ、はぁ……分かりました。では、行きます。時空移動!」

そこで、俺の意識は再び途絶えた……。

第1章 転生（後書き）

書き終わってからきづいたんですけど、主人公、名前書いてねえよ！
こんなアホ作者ですが、これからもお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5394z/>

空の探険隊で気ままな冒険をしてみることにした

2011年12月18日03時50分発行